

第3回坂東PA関連事業に関する整備方針検討委員会（概要）

■日時：令和2年2月20日（木）10：00～11：30

■場所：坂東市役所 第二分庁舎 1階会議室

■出席者：委員

鈴木清副委員長・張替委員・後藤委員・鈴木功委員・荒木委員・
長妻委員・應本委員・永塚委員・野口委員・北島委員・山口委員・
金久保委員・奥貫委員

（欠席：納口委員長、石川委員、平勢委員、鈴木博委員）

オブザーバー委員

開地委員・長谷川委員・赤羽委員・長山委員・高橋委員（代理：
茨城県土木部道路建設課高速道路対策室 大岡係長）

（欠席：佐藤委員、渡邊委員、桑名委員、加藤委員）

市・事務局

高橋都市整備課長・植本副参事・張替係長・小澤主幹・中山主幹

●議事

（1）年間利用者数の試算について

前面交通量及びハフモデルを用いた年間利用者数の試算を行い、想定される4つの案を整理した。

（2）施設規模の試算について

年間利用者数の試算において作成した4つの案について、それぞれの案における施設規模を試算した。

●決定事項

○年間利用者数については、59.5万人を想定する。

○施設規模については、1,900～2,400㎡を目安とする。

●意見交換での主な内容

年間利用者数の試算について

- 近年の物流関係は、少ない台数でより多く、より早く貨物を運ぶことに注力しており、貨物量は増えても運転手の数は増えず、更に運転手の時間的余裕も少ない状況である。利便施設を整備したとしても、貨物運転手の立ち寄りには期待できないということも想定できる。
- 外回り線のPA利用者は、地域利便施設の駐車場が離れていることから、トイレのみの利用となることも想定できる。
- 前面交通量からの利用者数算定における各パターンにおいて、一般道からの利用者数が同じ人数であるが、高速道路からの利用者と同様、状況に応じて変化があるパターンを作成してもよかったのではないかと。
- 前面交通量からの利用者数算定において、一般道からの利用人数をアグリパークゆめすぎと（埼玉県杉戸町）を参考に行っているとのことだが、当該施設は前面道路の広域農道が新4号国道の抜け道となっているため交通量が多くなっている。坂東市の地域利便施設の前面道路である市道弓馬田638号線は、抜け道にはならず、性格が異なることも注意しながら今後の整備にいかしてほしい。

施設規模の試算について

- 施設規模の検討には概算費用の提示が必要である。
- 施設整備については、利用者数の状況を見ながら大きくしていく段階的整備が望ましいと考える。当初から大きな施設を整備し、その後苦しんでいる事例も見受けられる。
- 圏央道は観光バスの通行も多く、それらが坂東PAで休憩することを考えると、トイレの便器数はなるべく多めに確保することが望ましい。
- 坂東PAと地域利便施設でトイレを共用できると望ましい。
- 完成形の規模を固めることは重要であるが、一方で運営方法も同時に検討する必要がある。

(以上)